



TAKARA
& COMPANY

タカラ・アンド・カンパニー

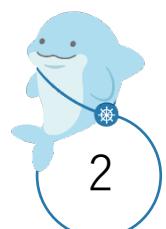
東証プライム 7921

—13期連続増収を支える成長ビジネスとは—



「統合報告書2025」

1. 会社概要
2. グループ事業内容
3. 13期連續増収を支える成長ビジネス
4. キャピタル・アロケーション
5. 株主還元



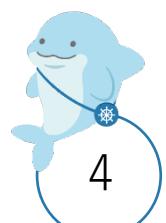
1. 会社概要

商号	株式会社TAKARA & COMPANY (タカラアンドカンパニー)
創業	1952年 (創業73年目)
代表者	堆 誠一郎
従業員数	1,245名 (連結)
グループ会社	21社
上場市場	東京証券取引所プライム市場 (証券コード7921)
決算月	5月
事業内容	持株会社としてグループ会社の経営管理 ディスクロージャー関連事業 通訳・翻訳事業



堆 誠一郎
(代表取締役社長)

(※2025年5月末現在)



「専門知識を活かして
お客様のお役に立ちたい」

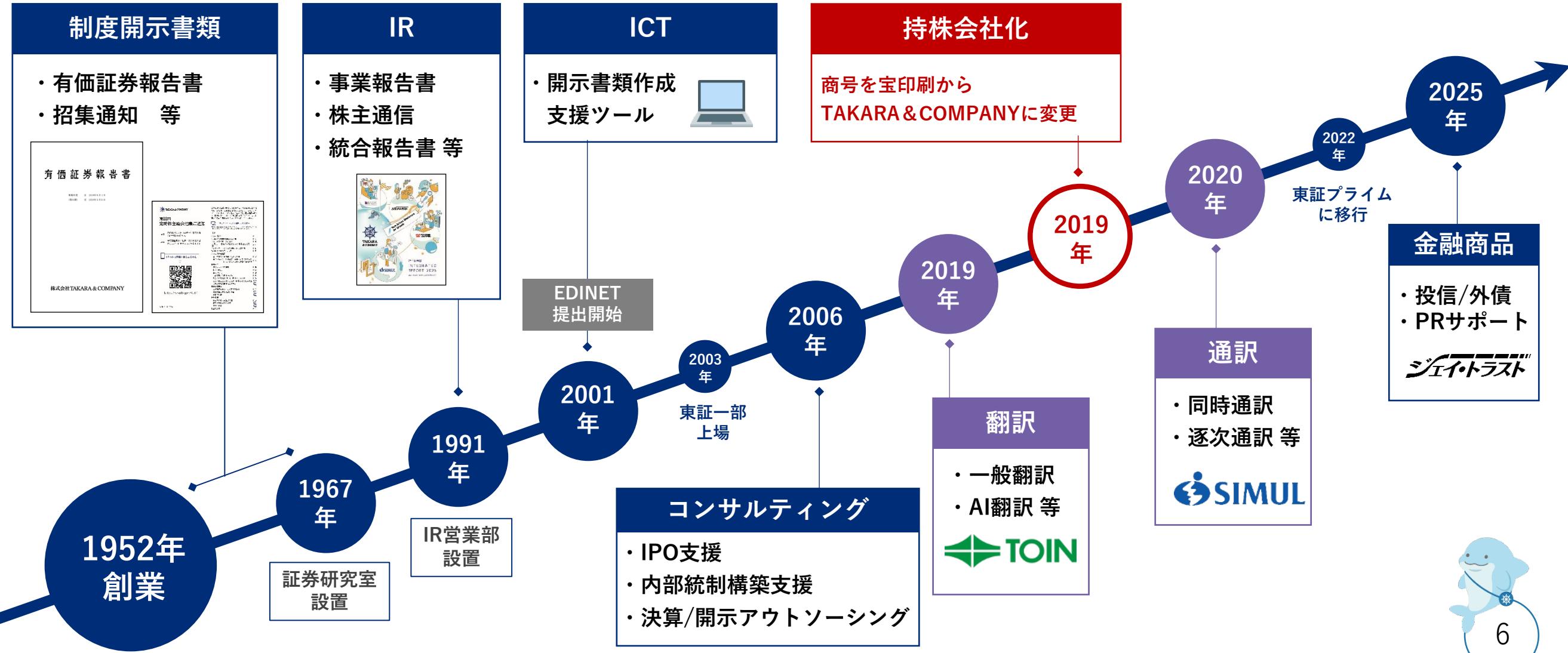
創業者 野村正道



右から2番目が野村正道



ディスクロージャーとIRを中心に事業領域を拡大し、拡大する開示ニーズに対応





TAKARA & COMPANY

創業から約70年に亘って蓄積された
知識・ノウハウを強みとする**宝印刷の宝**
(=TAKARA)

&

専門技術・知識を有した
各子会社
(**仲間たち** = COMPANY)

『グループ全体でお客様の企業価値拡大に貢献し、
社会になくてはならないグローバルな会社を目指す』
という意味が込められています。

2. グループ事業内容

ディスクロージャー関連事業



制度開示・任意開示書類の作成支援



有価証券報告書



募集通知



統合報告書

通訳・翻訳事業



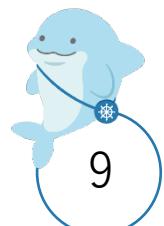
言語によるコミュニケーションの深化をサポート



通訳



翻訳



上場会社・IPO予定会社の情報開示を トータルサポート

お客様

約3,900社の
上場会社
+
約1,000社の
IPO予定会社 等

提出義務および任意開示

サポート



提出先

- 金融庁「EDINET」
- 東京証券取引所「TDnet」
- ホームページ
- 株主／投資家



システム
提供



コンサル
ティング



研究部
チェック



翻訳



動画配信



制作
印刷



官公庁やグローバル企業向けに 高品質なサービスをご提供

お客様



官公庁
グローバル企業
国内外事業会社

グローバルコミュニケーション

サポート



目的

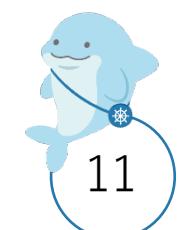
- 国際イベントの開催
- 閣僚級会合
- 役員会議・IR面談
- ビジネス/メディカル翻訳
- IT/エンタメ半導体翻訳
- 企業内派遣

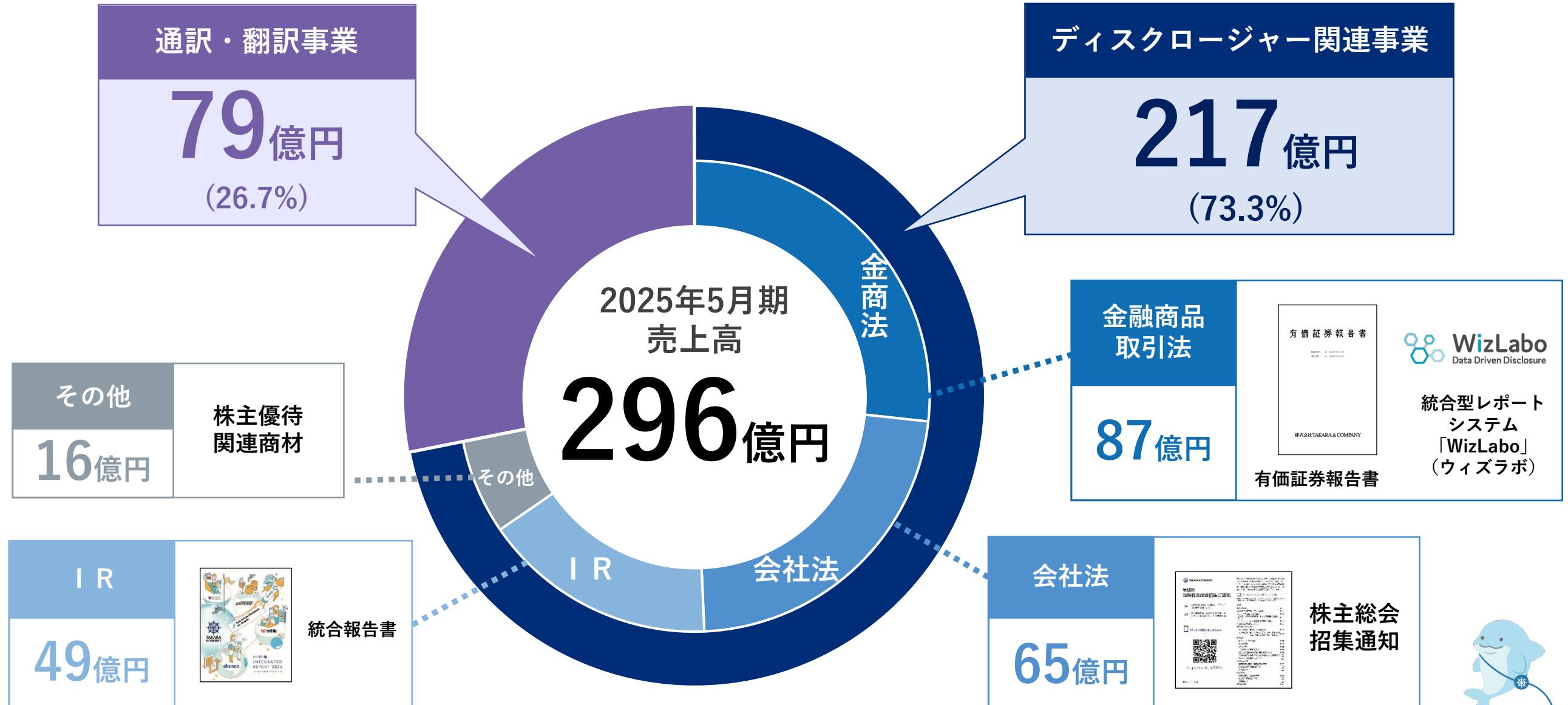


- 翻訳
- 遠隔同時通訳システム
- 機材
- 派遣事業



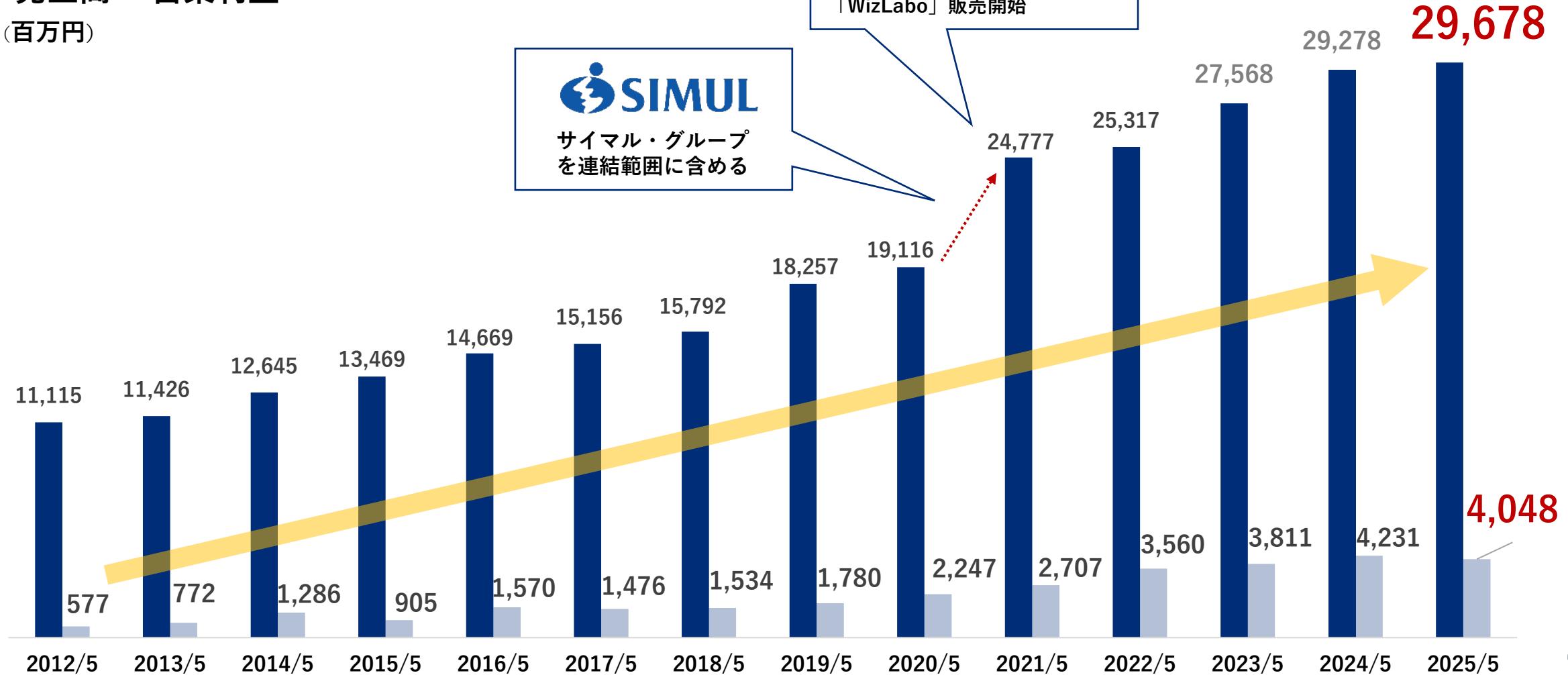
- AI翻訳システム
- ローカライズ
(地域化翻訳)
- トランスクリエーション
(訴求力のある翻訳)





3. 13期連続增收を支える成長ビジネス

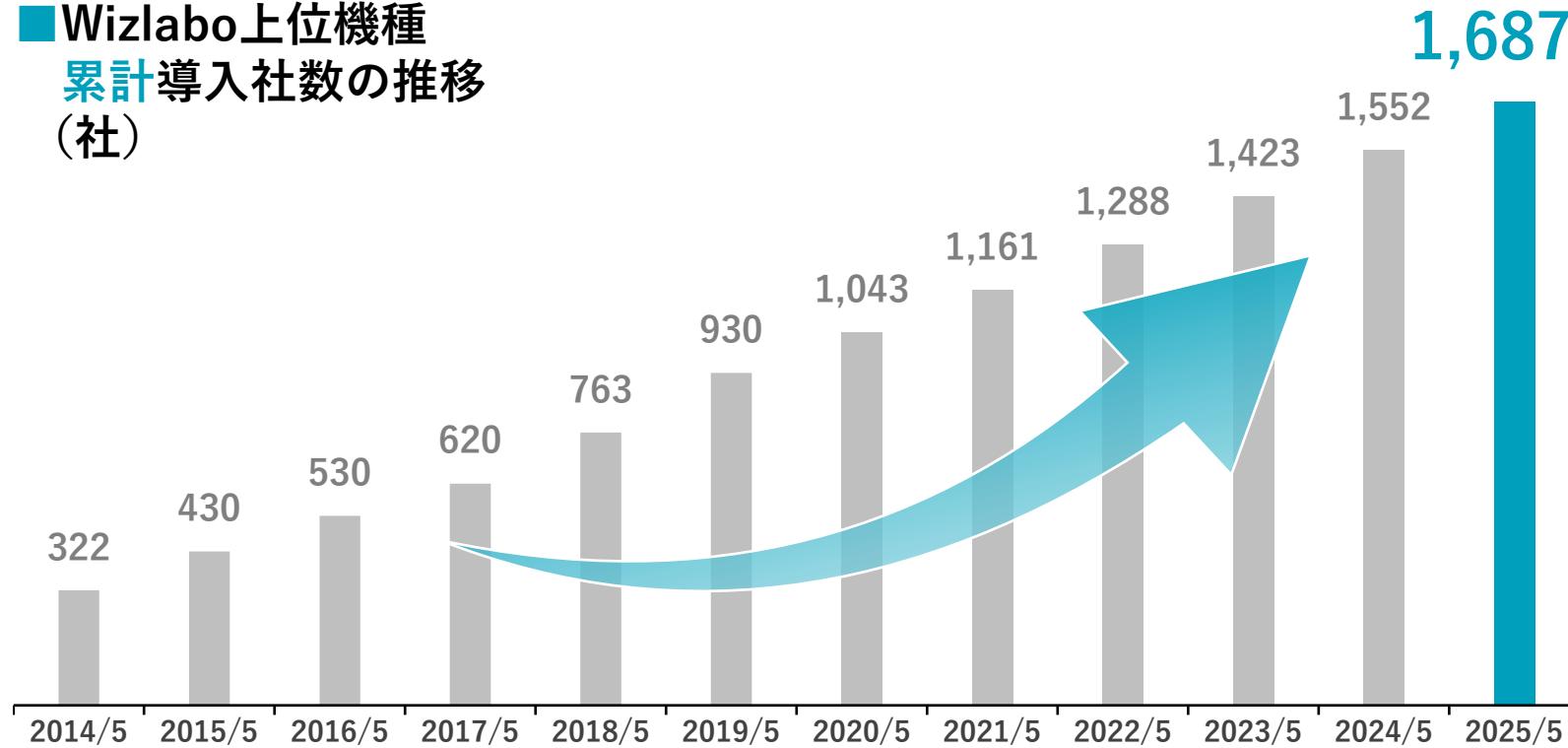
■ 売上高 ■ 営業利益
(百万円)



統合型ビジネスレポートシステム 「WizLabo」 の販売が好調

上位機種の累計導入社数が
1,600社突破

■WizLabo上位機種
累計導入社数の推移
(社)



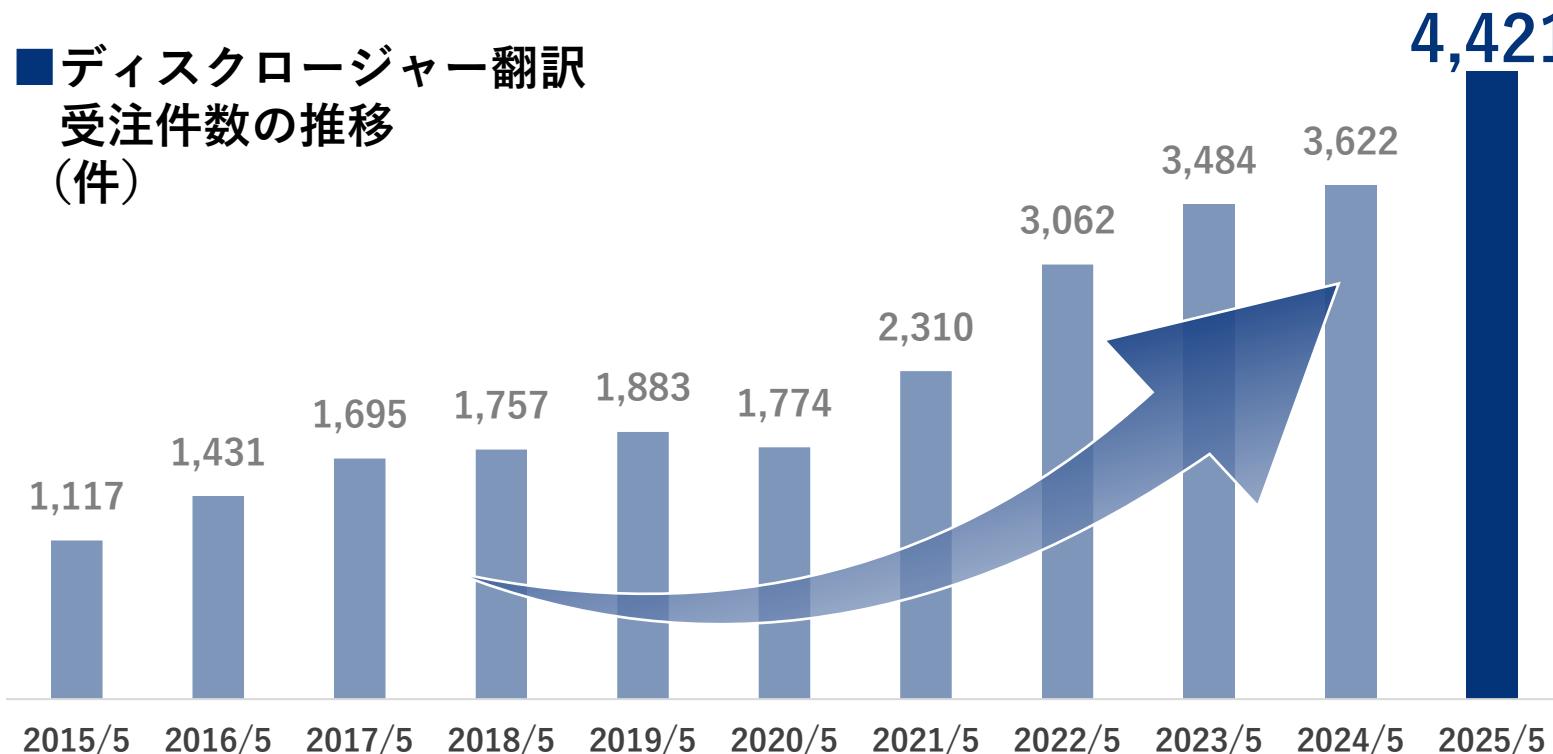
法定開示だけでなくIR、予算作成、子会社のデータ収集、監査業務など利用範囲を拡大中



決算短信や適時開示資料など、開示書類の「英文翻訳」の需要が拡大中！

翻訳受注件数が
4,400件突破

■ディスクロージャー翻訳
受注件数の推移
(件)



■製品別受注件数

製品	24/5	25/5	前期比
適時開示資料	265	923	658
決算説明会資料	199	257	58

※プライム上場市場に義務化された
日英同時開示の影響

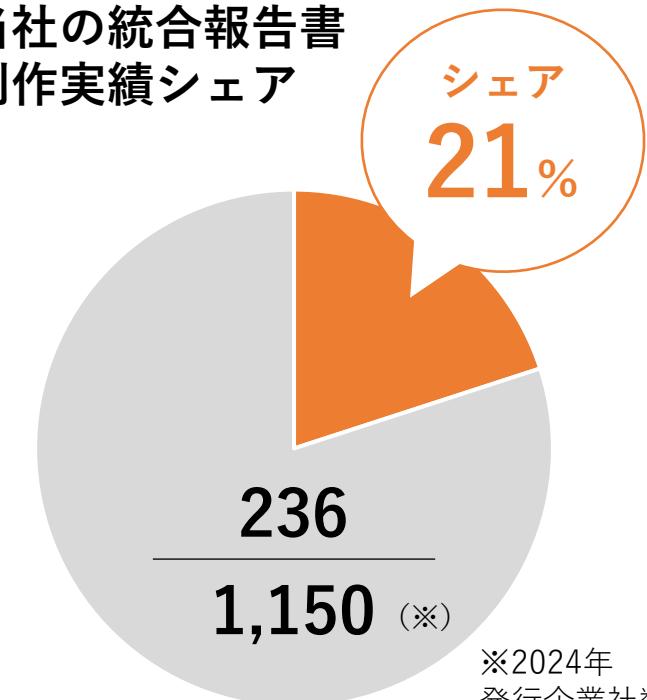
「統合報告書」の作成企業社数および作成支援社数が増加！

作成支援社数のシェアが
21%

■ 統合報告書
作成企業社数の推移
(社)



■当社の統合報告書
制作実績シェア



※宝印刷D&IR研究所調べ。

※「JPX日経インデックス400対象企業」「日経225対象企業」「JPX ESG Link」「時価総額1,000億円以上の企業」のほか、研究室の調査活動で確認できた企業その他法人を対象。(学校法人を除く)



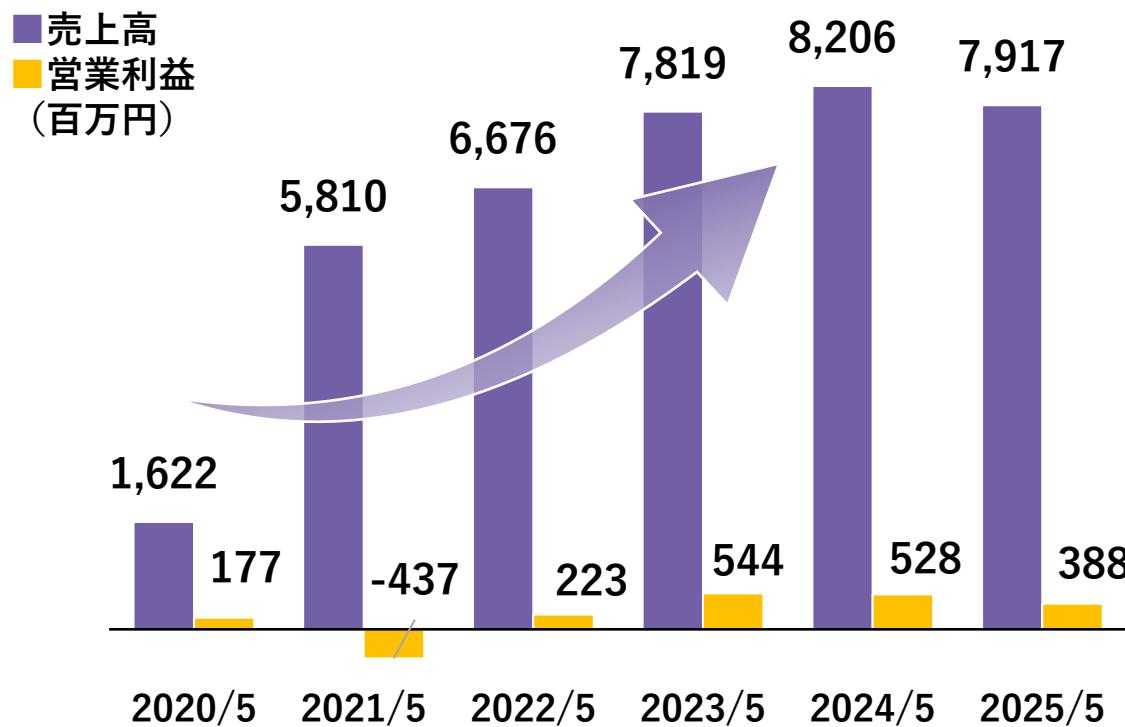
宝印刷D&IR研究所



通訳案件数は過去最高！“AI^(※)”や“MT^(※)”と共存しサービス提供での優位性を保つ

※AI=Artificial Intelligence (人工知能) /※MT=Machine Translation (機械翻訳)

「通訳・翻訳事業」の業績推移



通訳



クラウドベースの同時通訳遠隔ソリューション。従来からの遠隔同時通訳システムの他に、AI通訳など最新テクノロジーと万全のセキュリティで大型国際会議や大型イベント、社内会議などグローバルコミュニケーションをサポート。

翻訳



複数の機械翻訳エンジンと生成AIを使って36言語の自動翻訳が可能。専門用語は自社専用の辞書として登録でき、データは個別管理されエンジン提供会社による二次利用もされないのでセキュリティも万全。また、通訳・翻訳の手配もワンクリックで可能。

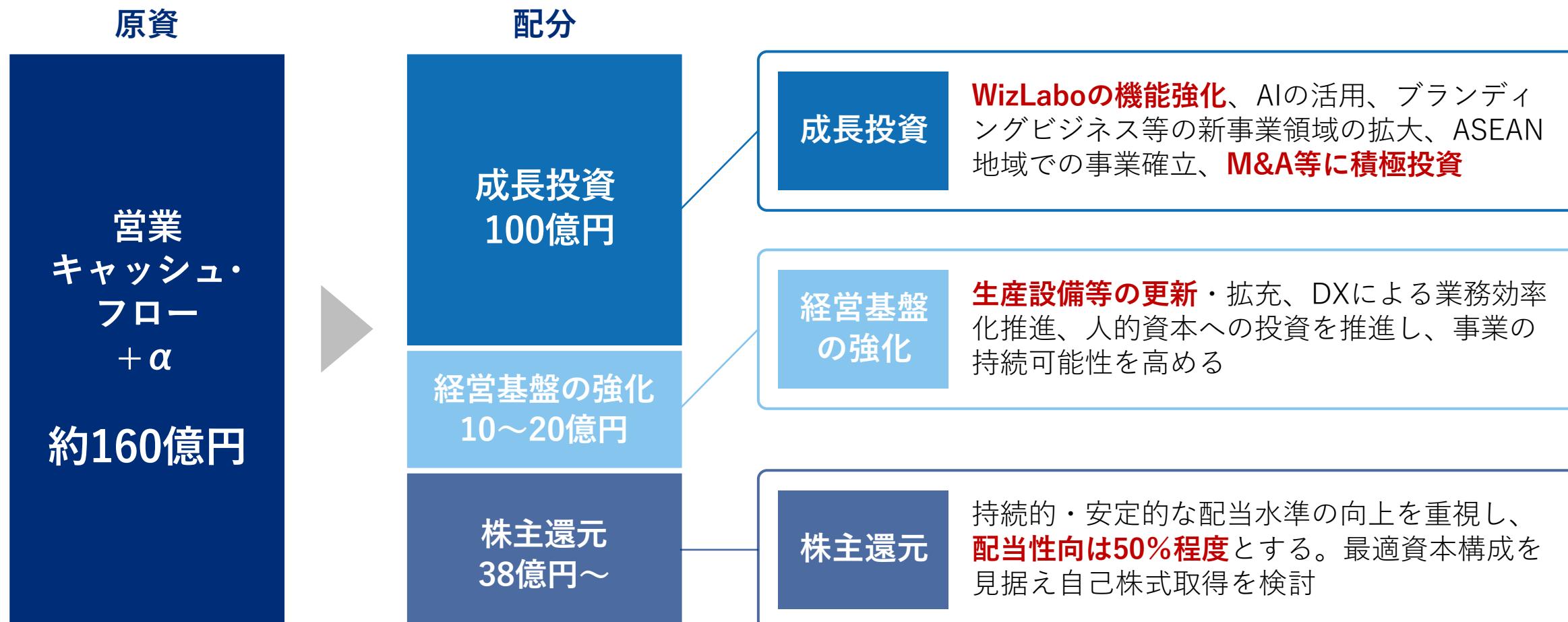
2025年5月期までの計画の進捗および2026年5月期の当社グループの事業分野の更なる強化を見据え、中期経営計画最終年度の業績目標を修正。

中期経営計画2026			
	2024/5 実績	2025/5 実績	2026/5 目標
売上高	292億円	296億円	330億円
営業利益	42億円	40億円	44億円 <small>(※)</small>
営業利益率	14.5%	13.6%	13.3% <small>(※)</small>
親会社株主に帰属する当期純利益	30億円	40億円	31億円 <small>(※)</small>
ROE	11.5%	14.1%	10.0% <small>(※)</small>

※当初計画より変更

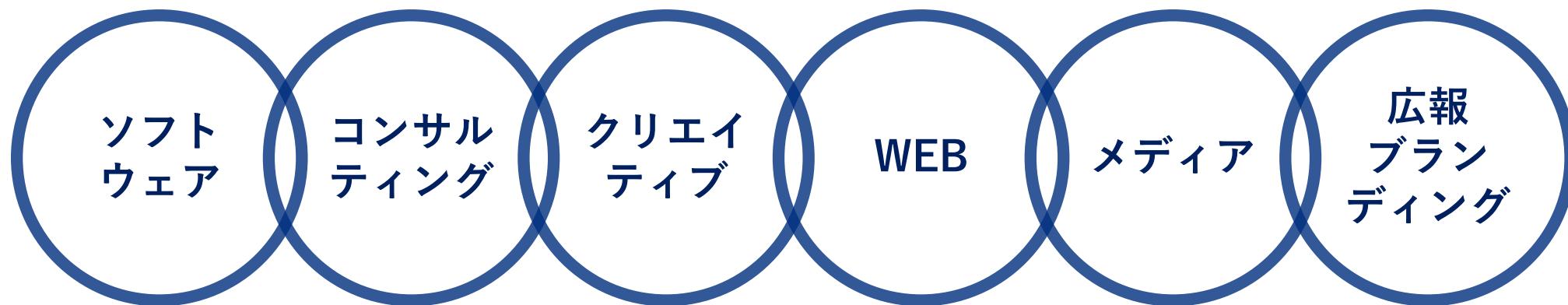
4. キャピタル・アロケーション

2025年7月にグループ資本戦略検討委員会を設置。企業価値の持続的な向上に向け
100億円の成長投資を始め、経営基盤の強化・株主還元を積極的に行う。



提供サービスの質に拘り、ディスクロージャー関連市場（制度開示、IR分野）での
オンリーワン企業を目指す

- 制度開示・IR分野はサステナビリティ開示の充実・グローバル投資家との対話ニーズの拡大・東証の開示強化の取り組み等により、拡大傾向。
- ディスクロージャー関連事業をコアとして、周辺領域への進出、新事業領域の拡大を目指す。



5. 株主還元

配当方針

安定配当

配当性向

50%程度

1株当たり配当金

2025年5月期

120円

中間配当45円
期末配当45円
特別配当30円

2026年5月期

120円

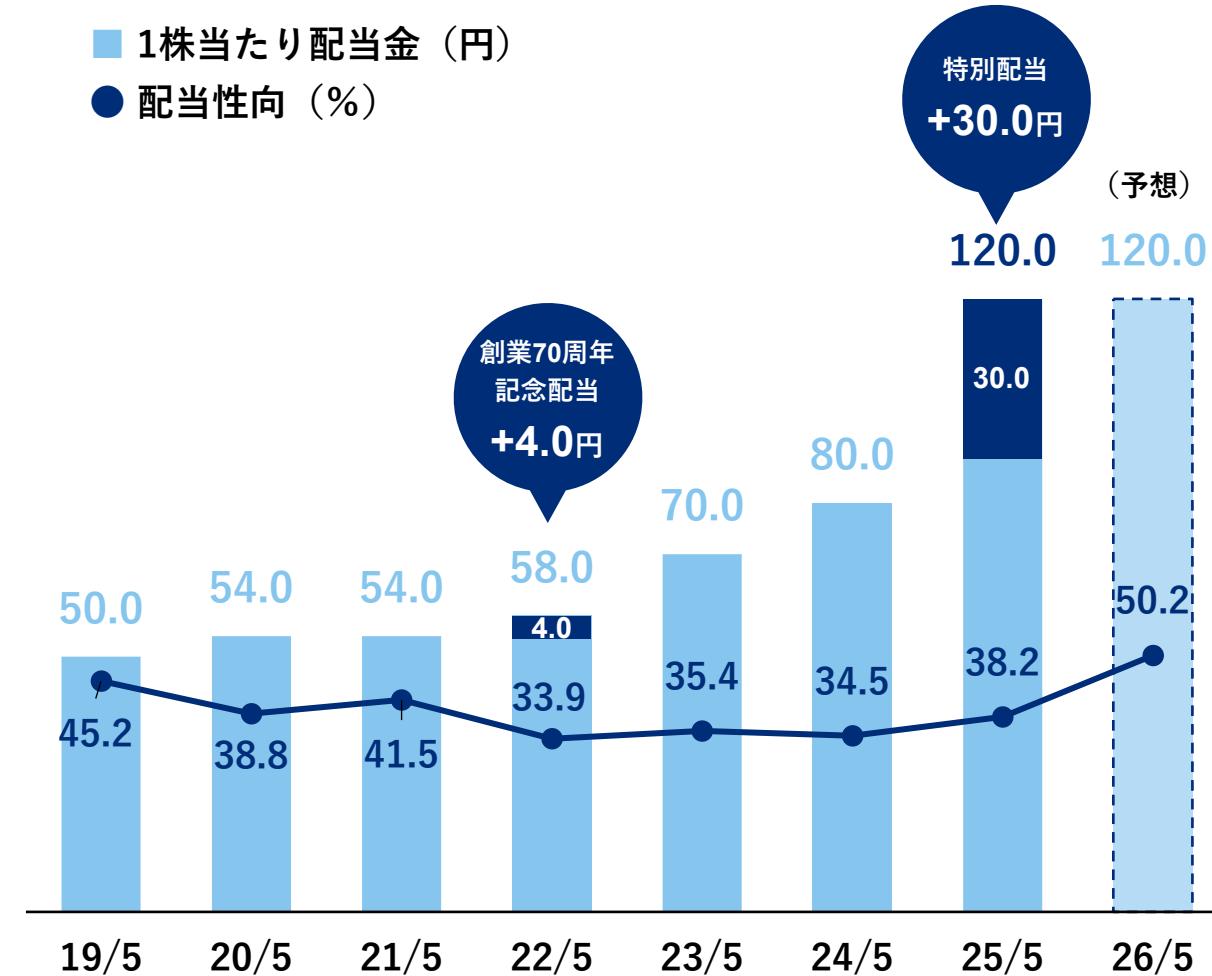
(予想)

中間配当60円
期末配当60円 (予想)

■配当金/配当性向の推移

■ 1株当たり配当金 (円)

● 配当性向 (%)



- 1 必要性** **なくてはならない社会インフラ**：“開示が義務付けられている”書類を作成
- 2 安定性** **安定した顧客基盤**：上場会社を中心に幅広いお客様に支えられている
- 3 健全性** **財務内容が良好**：10年前と比較し、売上高約2倍、営業利益約4倍に成長
- 4 積極性** “開示”に関する周辺分野にM&Aにより事業領域を拡大中
- 5 還元性** **株主様への利益還元を最重要課題として認識**：4年連続増配

冊子



Webサイト

YouTube

『ジャパニーズ インベスター』公式チャンネル



投資系インフルエンサー×企業 対談企画



宝印刷株式会社 企業CM (30秒)

～挑む、進む、ともに～



 宝印刷
TAKARA





TAKARA
& COMPANY



Tech Driven Disclosure
for Growth

ご視聴いただき
ありがとうございました。



総務部 広報IR課

WEB <https://www.takara-company.co.jp/>